

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

がん教育事業の評価方法の検討
－高等学校2年生を対象とした全国調査－

研究分担者	助友 裕子	（日本女子体育大学 教授）
研究協力者	東 尚弘	（国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 部長）
研究協力者	市瀬 雄一	（国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 研究員）
研究協力者	大浦 麻絵	（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 講師）
研究協力者	嶋根 卓也	（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 室長）
研究協力者	杉崎 弘周	（新潟医療福祉大学 教授）
研究協力者	細川 佳能	（早稲田大学大学院 博士後期課程3年）
研究協力者	中川明日香	（日本女子体育大学大学院 修士課程1年）

研究要旨：本研究では、全国の高等学校2年生を対象としたオンラインによる質問紙調査を実施し、がん教育の初期アウトカムを測定することを目的とした。全国から高等学校238校を選出し、2022年度2学期中（9月～12月）の各校任意の期日に実施するよう依頼した。がん教育ロジックモデルに基づき、がん教育初期アウトカム32指標についてたずねた。研究対象校238校のうち、145校の協力が得られた（施設回収率60.9%）。研究協力校145校の2年生の生徒総数は、30,208名であり、このうち21,692名から回答が得られた（回収率71.8%）。その中で、調査に協力すると回答した20,402名を測定対象とした（有効回答率94.1%）。対象者の平均年齢（標準偏差）は、16.6（0.49）で、16歳が7,568名（37.1%）、17歳が11,519名（56.5%）であった。性別は、男性9,808名（48.1%）、女性10,024名（49.1%）、回答したくない532名（2.6%）、無回答38名（0.2%）であった。各指標の算出法による回答割合は、がん予防分野7指標は、72.3%～90.2%、がん検診分野2指標は、57.0%～67.0%、がん医療分野3指標は、14.7%～89.1%、サバイバーシップ分野5指標は、30.1%～86.1%、未分類分野15指標は、22.6%～80.4%でそれぞれ推移した。本研究では、がん教育初期アウトカム32指標の現状値が測定されるとともに、がん予防分野以外の分野について課題があることが明らかとなった。今後は、継続的モニタリングを行い、がん対策の推進に資するがん教育の在り方について検討を重ねる必要がある。

A. 研究目的

本研究では、体系的な学校健康教育の特性をふまえ、全国の高等学校2年生を対象としたオンラインによる質問紙調査を実施し、がん教育の初期アウトカムを測定することを目的とした。

B. 研究方法

1. 調査設計

高等学校2年生を調査対象とした。全国の生徒に個々に調査を行うことは現実的に困難であることから、学校に依頼して対象学年単位

で実施してもらうこととした。対象校の抽出には、2021年5月を基準とした全国の学校一覧名簿（NPO法人教育ソリューション協会企画・調査：全国学校データ）をデータベースとして用いた。各都道府県を層とし、高等学校2年生の在籍生徒数に比例させて都道府県ごとの対象校を決定し、無作為抽出を行った。校数については、在籍生徒数の最も少ない鳥取県の調査対象校数を1とし、これに対するその他の都道府県の生徒数の比率を算出し、四捨五入して237校を確定した。加えて、唯一1校のみが選出される鳥取県の施設回収率が

0%となることを回避する目的で、同県の対象校を2校とし、238校を確定した。対象校には、国公立、私立、男子校、女子校、共学校、全日制、定時制、学科、本校、分校、さらに学校の規模を問わず、使用したデータベースのすべての学校から乱数を使用して抽出した。抽出後または調査用紙（QRコード票）発送の段階で統廃合になっていたことが判明した場合には、再び乱数を用いて抽出を行った。以上の手続きにより、全国から高等学校238校を選出し、調査用紙を発送した。

調査は、2022年度2学期中（9月～12月）の各校任意の期日に実施するよう依頼した。まず、研究代表者（研究分担者）より研究対象校の学校長に書面による依頼をした後に（資料1）、分担研究者が調査一式を郵送した。クラス毎に担任教諭が調査用QRコード票（資料2）を配布し回収した。その際、担任教諭は、マニュアル（資料3）にもとづいて調査を実施するよう依頼した。実施後、母集団のサンプルサイズを把握するため、学年在籍者数を記録した用紙（資料4）を封筒に密閉し、研究分担者の施設へ郵送するよう依頼した。

2. 測定項目及び測定方法

がん教育ロジックモデル（図1）に基づき、表1の通り初期アウトカム指標を整理した。これらを踏まえた調査内容（資料5）は、以下の通りである。

0. 調査協力同意の有無

1. 性別と年齢
2. 健康行動意図（3件法） 8項目
3. がん検診は、どのような人が受けるものだと思うか（複数回答） 3項目
4. 自身ががんと診断されたら、治療方法は誰が中心となって決めると思うか
5. がんの標準治療として適切だと思うもの

（複数回答） 8項目

6. 緩和ケアに関する知識
7. 生活習慣とがんの関係に関する知識
8. がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたいか
9. がんスティグマ（がんに対する考え方やイメージ）（7件法） 2項目
10. がんのセルフスティグマ
11. ヘルスメディアリテラシー（5件法） 3項目
12. がん情報に関するセルフエフィカシー（5件法） 8項目
13. がんの情報源（複数回答） 12項目
14. 授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったことはあるか
15. 授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたことがあるか
16. 授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたことがあるか

3. 倫理面への配慮

本研究の対象者は、研究協力校の学校長の指示による調査実施担当教員から説明を受けた高等学校2年生で、研究内容を理解し、本人の意思で研究参加に同意した者とし、調査への回答は任意であることを、調査実施担当教員から説明するとともに、調査用QRコード票にも記載した。本研究は、日本女子体育大学研究倫理委員会研究倫理審査専門部会（申請番号2022-11-2）ならびに国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会（研究課題番号2022-121）それぞれの承認を得て実施した。

C. 研究結果

表2に施設回収状況を示す。研究対象校238校のうち、145校の協力が得られた（施設回収率60.9%）。研究協力校145校の2年生の生徒総数は、30,208名であり、このうち21,692名から回答が得られた（回収率71.8%）。その中で、調査に協力すると回答した20,402名を測定対象とした（有効回答率94.1%）。

表3に、がん教育初期アウトカム指標の測定結果を示す。対象者の平均年齢（標準偏差）は、16.6（0.49）で、16歳が7,568名（37.1%）、17歳が11,519名（56.5%）であった。性別は、男性9,808名（48.1%）、女性10,024名（49.1%）、回答したくない532名（2.6%）、無回答38名（0.2%）であった。各指標の算出法による回答割合は、がん予防分野7指標は、72.3%～90.2%、がん検診分野2指標は、57.0%～67.0%、がん医療分野3指標は、14.7%～89.1%、サバイバーシップ分野5指標は、30.1%～86.1%、未分類分野15指標は、22.6%～80.4%でそれぞれ推移した。

D. 考察

がん教育初期アウトカム32指標のうち、設定した項目の回答割合が6割を超えたのは、14指標であった。その中でも、8割を超えた9指標のうち、がん予防分野は6指標を占めていた。一方、設定した項目の回答割合が4割に満たなかったのは、緩和ケアを含むがん医療分野2指標、サバイバーシップ分野1指標、ヘルスリテラシーを含む未分類分野5指標の計8指標であった。このことから、がん予防分野については相当数の生徒が正しい認識・態度を形成しているのに対し、それ以外の分野については、課題があることが明らかとなった。

特に、高校生のヘルスリテラシーの一要素としてがんリスクについての論理的な正しさ

を理解しているかどうかを測定した指標（S-1）では、がんと生活習慣の関係について「がんは、生活習慣の改善で予防できる」「がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない」のみを選択した者の割合は、30.1%であった。（がん）リスク概念を正しく理解することは、（がん）患者に対する正しい理解を促し、共生社会を実現することにつながる可能性がある。

本研究では、がん教育初期アウトカム指標の測定を目指した。今後は、継続的に指標を測定し、がん教育分野の進捗をモニタリングすることが求められる。さらに、がん対策の最終アウトカムへのインパクト評価を行い、指標の改廃やロジックモデルを改訂し、がん対策の推進に資するがん教育の在り方について検討を重ねる必要がある。

E. 結論

本研究では、全国の高等学校2年生を対象としたオンラインによる質問紙調査を実施した結果、がん教育初期アウトカム32指標の現状値が測定されるとともに、がん予防分野以外の分野について課題があることが明らかとなった。今後は、継続的モニタリングを行い、がん対策の推進に資するがん教育の在り方について検討を重ねる必要がある。

G. 研究発表

1. 論文発表

Yako-Suketomo H, Katayama K, Ogihara A, Asai-Sato M. Process of developing a cervical cancer education program for female university students in a Health and Physical Education teacher training course: an action research. *BMC Womens Health*. 2023 Apr 11;23

(1):169. doi: 10.1186/s12905-023-02273-8.

nada.

Yako-Suketomo H, Oura A, Katayama K, Saito K, Ohashi K, Navarro AM. The Effect of a Learning Partner Model-Based Program on Spreading Cancer Prevention Knowledge Using Community Health Volunteers in Japan. *J Prim Care Community Health*. 2022 Jan-Dec;13:21501319221110682. doi: 10.1177/21501319221110682.

H. 知的財産の出願・登録状況
なし

Hosokawa Y, Yako-Suketomo H, Ishii K, Oka K. Factors promoting collaboration between community sports leaders and guardians in urban areas of Japan: A cross-sectional study. *Front Public Health*. 2022 Aug 29;10:940580. doi: 10.3389/fpubh.2022.940580. eCollection 2022.

2. 学会発表

助友裕子. アクションリサーチの報告のためのガイドラインについて. 第30回日本健康教育学会学術大会, 獨協医科大学 (栃木県壬生町), 2022年7月.

助友裕子. コミュニティとのヘルスプロモーション研究の立ち上げ方:現場との研究を後押しするパートナーシップの築き方. 第30回日本健康教育学会学術大会, 獨協医科大学 (栃木県壬生町), 2022年7月.

Yako-Suketomo H, Hosokawa Y, Fujino Y. Health impact assessment to close the physical activities disparities for sports promotion programmes in Mitaka City, Tokyo, Japan. 24th IUHPE World Conference on Health Promotion (May 15-19, 2022) in Palais des congrès de Montreal, Montreal Quebec, Ca

図1 がん教育ロジックモデル

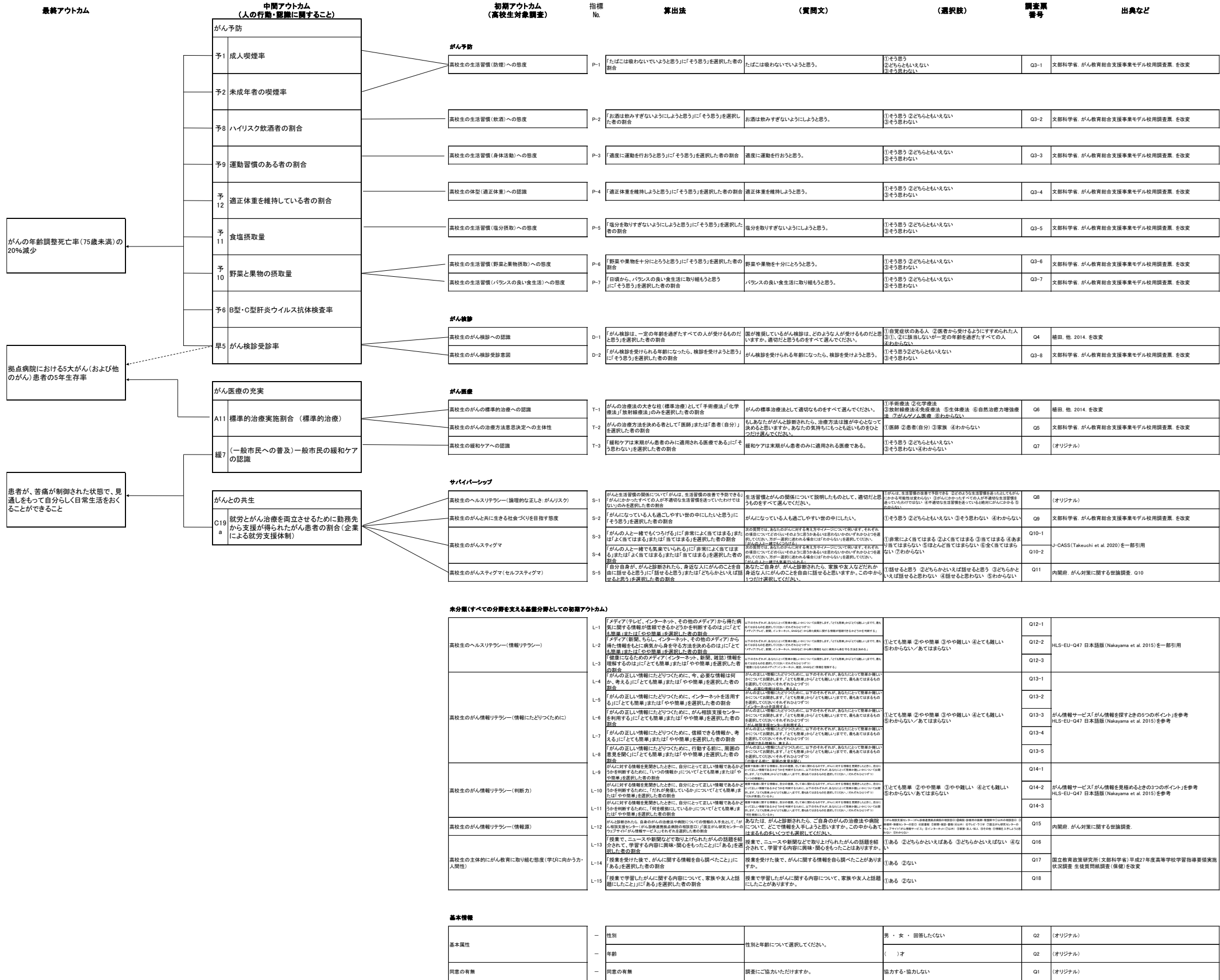


表1 がん教育初期アウトカム指標一覧

最終アウトカム	中間アウトカム (人の行動・認識に関すること)		初期アウトカム (高校生対象調査)		算出法	(質問文)	(選択肢)	調査票 番号	出典など			
	分野 指標 No.	指標名	分野 指標名	指標 No.								
がんの年齢調整死亡率(75歳未満)の20%減少	がん予防	予1	成人喫煙率	がん予防	P-1	「たばこは吸わないでいようと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	たばこは吸わないでいようと思う。	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない	Q3-1	文部科学省。がん教育総合支援事業モデル校用調査票。を改変		
		予2	未成年者の喫煙率		P-2	「お酒は飲みすぎないようにしようと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	お酒は飲みすぎないようにしようと思う。					
		予8	ハイリスク飲酒者の割合		P-3	「適度に運動を行おうと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	適度に運動を行おうと思う。					
		予9	運動習慣のある者の割合		P-4	「適正体重を維持しようと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	適正体重を維持しようと思う。					
		予12	適正体重を維持している者の割合		P-5	「塩分を取りすぎないようにしようと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	塩分を取りすぎないようにしようと思う。					
		予11	食塩摂取量		P-6	「野菜や果物を十分にとろうと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	野菜や果物を十分にとろうと思う。					
		予10	野菜と果物の摂取量		P-7	「日頃から、バランスの良い食生活に取り組もうと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	バランスの良い食生活に取り組もうと思う。					
		予6	B型・C型肝炎ウイルス抗体検査率									
		早5	がん検診受診率		がん検診	D-1	「がん検診は、一定の年齢を過ぎたすべての人が受けるものだと思う」を選択した者の割合		国が推奨しているがん検診は、どのようの人が受けるものだと思いますか。適切だと思うものをすべて選んでください。			
					がん検診	D-2	「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」に「そう思う」を選択した者の割合		がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。			
拠点病院における5大がん(および他のがん)患者の5年生存率	がん医療の充実	A11	標準的治療実施割合(標準的治療)	がん医療	T-1	がんの治療法の大きな柱(標準治療)として「手術療法」「化学療法」「放射線療法」のみを選択した者の割合	がんの標準治療法として適切なものすべてを選んでください。	①手術療法 ②化学療法 ③放射線療法 ④免疫療法 ⑤生体療法 ⑥自然治癒力増強療法 ⑦がんゲノム医療 ⑧わからない	Q6	植田, 他. 2014. を改変		
				がん医療	T-2	がんの治療方法を定める者として「医師」または「患者(自分)」を選択した者の割合	もしあなたががんと診断されたら、治療方法は誰が中心となって決めると思えますか。あなたの気持ちにもっとも近いものをひとつだけ選んでください。		①医師 ②患者(自分) ③家族 ④わからない		Q5	文部科学省。がん教育総合支援事業モデル校用調査票。を改変
		緩7	(一般市民への普及)一般市民の緩和ケアの認識	がん医療	T-3	「緩和ケアは末期がん患者のみに適用される医療である」に「そう思わない」を選択した者の割合	緩和ケアは末期がん患者のみに適用される医療である。		①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない ④わからない		Q7	

表1 がん教育初期アウトカム指標一覧 (つづき)

患者が、苦痛が制御された状態で、見通しをもって自分らしく日常生活をおくることができること	がんとの共生	C19a	就業とがん治療を両立させるために勤務先から支援が得られたがん患者の割合(企業による就労支援体制)	高校生のヘルスリテラシー(論理的な正しさ:がんリスク)	S-1	「がんと生活習慣の関係について「がんは、生活習慣の改善で予防できる」「がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない」のみを選択した者の割合	生活習慣とがんの関係について説明したものと、適切だと思うものすべてを選んでください。	①がんは、生活習慣の改善で予防できる ②どのような生活習慣を送ったとしてもがんにかかる可能性は変わらない ③がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない ④不適切な生活習慣を送っていると絶対にがんにかかる ⑤わからない	Q8	
				高校生のがんと共に生きる社会づくりを目指す態度	S-2	「がんになっている人も過ごしやすい世の中になりたいと思う」「そう思う」を選択した者の割合	がんになっている人も過ごしやすい世の中になりたい。	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない ④わからない	Q9	文部科学省、がん教育総合支援事業モデル校用調査票、を改変
				高校生のがんスティグマ	S-3	「がんの人と一緒にでもつづける」に「非常によく当てはまる」または「よく当てはまる」または「当てはまる」を選択した者の割合	次の質問では、あなたのがんに対する考え方やイメージについて伺います。それぞれの項目についてどのくらいのように思うかあるいは思わないかのいずれかひとつを選択してください。万が一選択に迷われる場合には「わからない」を選択してください。 「がんの人と一緒にでもつづける」	①非常によく当てはまる ②よく当てはまる ③当てはまる ④あまり当てはまらない ⑤ほとんど当てはまらない ⑥全く当てはまらない ⑦わからない	Q10-1	J-CASS(Takeuchi et al. 2020)を一部引用
				高校生のがんスティグマ	S-4	「がんの人と一緒にでも気楽でいられる」に「非常によく当てはまる」または「よく当てはまる」または「当てはまる」を選択した者の割合	次の質問では、あなたのがんに対する考え方やイメージについて伺います。それぞれの項目についてどのくらいのように思うかあるいは思わないかのいずれかひとつを選択してください。万が一選択に迷われる場合には「わからない」を選択してください。 「がんの人と一緒にでも気楽でいられる」		Q10-2	
				高校生のがんスティグマ(セルフスティグマ)	S-5	「自分自身が、がんと診断されたら、身近な人にがんのことを自由に話せると思う」「話せると思う」または「どちらかといえば話せると思う」を選択した者の割合	あなたご自身が、がんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人にがんのことを自由に話せると思えますか。この中から1つだけ選択してください。	①話せると思う ②どちらかといえば話せると思う ③どちらかといえば話せると思わない ④話せると思わない ⑤わからない	Q11	内閣府、がん対策に関する世論調査、Q10
未分類(すべての分野を支える基盤分野)				高校生のヘルスリテラシー(情報リテラシー)	L-1	「メディア(テレビ、インターネット、その他のメディア)から得た病気にに関する情報が信頼できるかどうかを判断するのは」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「メディア(テレビ、新聞、インターネット、SNSなど)から得た病気にに関する情報が信頼できるかどうかを判断する」	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない/あてはまらない	Q12-1	HLS-EU-Q47 日本語版(Nakayama et al. 2015)を一部引用
					L-2	「メディア(新聞、ちらし、インターネット、その他のメディア)から得た情報をもとに病気を身を守る方法を決めるのは」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「メディア(テレビ、新聞、インターネット、SNSなど)から得た情報をもとに病気を身を守る方法を決める」		Q12-2	
					L-3	「健康になるためのメディア(インターネット、新聞、雑誌)情報を理解するのは」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「健康になるためのメディア(インターネット、雑誌、SNSなど)情報を理解する」		Q12-3	

表1 がん教育初期アウトカム指標一覧 (つづき)

と し て の 初 期 ア ウ ト カ ム	高校生のがん情報リテラシー(情報にたどりつくために)	L-4	「がんの正しい情報にたどりつくために、今、必要な情報は何か、考える」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「今、必要な情報は何か、考える」	Q13-1	がん情報サービス「がん情報を探すときの5つのポイント」を参考 HLS-EU-Q47 日本語版(Nakayama et al. 2015)を参考
	L-5	「がんの正しい情報にたどりつくために、インターネットを活用する」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「インターネットを活用する」	Q13-2		
	L-6	「がんの正しい情報にたどりつくために、がん相談支援センターを利用する」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「がん相談支援センターを利用する」	Q13-3		
	L-7	「がんの正しい情報にたどりつくために、信頼できる情報か、考える」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「信頼できる情報か、考える」	Q13-4		
	L-8	「がんの正しい情報にたどりつくために、行動する前に、周囲の意見を聞く」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「行動する前に、周囲の意見を聞く」	Q13-5		
	高 校 生 の が ん 情 報 リ テ ラ シー(判断力)	L-9	がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、「いつの情報か」について「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「いつの情報か」	Q14-1	がん情報サービス「がん情報を見極めるときの3つのポイント」を参考 HLS-EU-Q47 日本語版(Nakayama et al. 2015)を参考
		L-10	がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、「だれが発信しているか」について「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「だれが発信しているか」	Q14-2	
		L-11	がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、「何を根拠にしているか」について「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「何を根拠にしているか」	Q14-3	

表1 がん教育初期アウトカム指標一覧 (つづき)

			<p>高校生のがん情報リテラシー(情報源)</p>	L-12	<p>がんと診断されたら、自身のがんの治療法や病院についての情報の入手先として、「がん相談支援センター(がん診療連携拠点病院の相談窓口)」「国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」」それぞれを選択した者の割合</p>	<p>あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつかも選択してください。</p>	<p>①がん相談支援センター(がん診療連携拠点病院の相談窓口) ②病院・診療所の医師・看護師や①以外の相談窓口 ③保健所・保健センターの窓口 ④図書館 ⑤新聞・雑誌・書籍(④以外) ⑥テレビ・ラジオ ⑦国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」 ⑧インターネット(⑦以外) ⑨家族・友人・知人 ⑩その他 ⑪情報を入手しようと思わない ⑫わからない</p>	Q15	内閣府 がん対策に関する世論調査
			<p>高校生の主体的にがん教育に取り組む態度(学びに向かう力・人間性)</p>	L-13	<p>「授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったこと」に「ある」を選択した者の割合</p>	<p>授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったことはありませんか。</p>	<p>①ある ②どちらかといえばある ③どちらかといえばない ④ない</p>	Q16	<p>国立教育政策研究所(文部科学省)平成27年度高等学校学習指導要領実施状況調査 生徒質問紙調査(保健)を改変</p>
		L-14		<p>「授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたこと」に「ある」を選択した者の割合</p>	<p>授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたことがありますか。</p>	<p>①ある ②ない</p>	Q17		
		L-15		<p>「授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたこと」に「ある」を選択した者の割合</p>	<p>授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたことがありますか。</p>		Q18		
		<p>基本情報</p>	<p>基本属性</p>	-	性別	性別と年齢について選択してください。	男女 回答したくない	Q2	(オリジナル)
				-	年齢		()才	Q2	
				-	同意の有無	同意の有無	調査にご協力いただけますか。	協力する 協力しない	

表2 施設回収状況

都道府県	対象施設数	回収施設数	施設回収率(%)
全国	238	145	60.9
北海道	9	5	55.6
青森県	3	2	66.7
岩手県	3	1	33.3
宮城県	4	3	75.0
秋田県	2	2	100.0
山形県	2	1	50.0
福島県	4	0	0.0
茨城県	6	3	50.0
栃木県	4	2	50.0
群馬県	4	2	50.0
埼玉県	12	4	33.3
千葉県	10	8	80.0
東京都	22	14	63.6
神奈川県	14	9	64.3
新潟県	4	3	75.0
富山県	2	0	0.0
石川県	3	1	33.3
福井県	2	2	100.0
山梨県	2	1	50.0
長野県	4	1	25.0
岐阜県	4	3	75.0
静岡県	7	5	71.4
愛知県	13	6	46.2
三重県	4	4	100.0
滋賀県	3	3	100.0
京都府	5	3	60.0
大阪府	15	10	66.7
兵庫県	9	4	44.4
奈良県	3	2	66.7
和歌山県	2	2	100.0
鳥取県	2	1	50.0
島根県	2	2	100.0
岡山県	4	1	25.0
広島県	5	5	100.0
山口県	3	2	66.7
徳島県	2	2	100.0
香川県	2	1	50.0
愛媛県	3	0	0.0
高知県	2	1	50.0
福岡県	9	6	66.7
佐賀県	2	2	100.0
長崎県	3	3	100.0
熊本県	4	4	100.0
大分県	3	3	100.0
宮崎県	3	1	33.3
鹿児島県	4	2	50.0
沖縄県	4	3	75.0

表3 がん教育初期アウトカム指標の測定結果

分野	指標名	指標 No.	算出法	(質問文)	調査票番号		N=20,402 n	(%)	現状値 (2022年) N=20,402
がん 予 防	高校生の生活習慣 (防煙)への態度	P-1	「たばこは吸わないでいよう と思う」に「そう思う」を選 択した者の割合	たばこは吸わないでいよう と思う。	Q3-1	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	18,411 1,362 609 20	(90.2) (6.7) (3.0) (0.1)	90.2%
	高校生の生活習慣 (飲酒)への態度	P-2	「お酒は飲みすぎないように しようと思う」に「そう思 う」を選択した者の割合	お酒は飲みすぎないように しようと思う。	Q3-2	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	16,609 3,061 707 25	(81.4) (15.0) (3.5) (0.1)	81.4%
	高校生の生活習慣 (身体活動)への態度	P-3	「適度に運動を行おうと思 う」に「そう思う」を選 択した者の割合	適度に運動を行おうと思 う。	Q3-3	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	16,870 2,968 531 33	(82.7) (14.5) (2.6) (0.2)	82.7%
	高校生の体型(適正 体重)への認識	P-4	「適正体重を維持しようと思 う」に「そう思う」を選 択した者の割合	適正体重を維持しようと思 う。	Q3-4	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	17,051 2,743 571 37	(83.6) (13.4) (2.8) (0.2)	83.6%
	高校生の生活習慣 (塩分摂取)への態度	P-5	「塩分を取りすぎないように しようと思う」に「そう思 う」を選択した者の割合	塩分を取りすぎないように しようと思う。	Q3-5	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	14,744 4,678 936 44	(72.3) (22.9) (4.6) (0.2)	72.3%
	高校生の生活習慣 (野菜と果物摂取) への態度	P-6	「野菜や果物を十分にとろう と思う」に「そう思う」を選 択した者の割合	野菜や果物を十分にとろう と思う。	Q3-6	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	17,719 2,314 334 35	(86.8) (11.3) (1.6) (0.2)	86.8%
	高校生の生活習慣 (バランスの良い食 生活)への態度	P-7	「日頃から、バランスの良い 食生活に取り組もうと思 う」に「そう思う」を選 択した者の割合	バランスの良い食生活に 取り組もうと思う。	Q3-7	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	16,714 3,177 474 37	(81.9) (15.6) (2.3) (0.2)	81.9%
が ん 検 診	高校生のがん検診 への認識	D-1	「がん検診は、一定の年齢を 過ぎたすべての人が受ける ものだと思う」を選択した 者の割合	国が推奨しているがん検 診は、どのような人が受 けるものだと思いますか。 適切だと思うものをすべ て選んでください。	Q4	①自覚症状のある人 ②医者から受けるようにす められた人 ③①、②に該当しないが一 定の年齢を過ぎたすべ ての人 ④わからない 無回答	9,662 10,101 11,628 2,567 52	(47.4) (49.5) (57.0) (12.6) (0.3)	57.0%
	高校生のがん検診 受診意図	D-2	「がん検診を受けられる年 齢になったら、検診を受 けようと思う」に「そう 思う」を選択した者の 割合	がん検診を受けられる年 齢になったら、検診を受 けようと思う。	Q3-8	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない 無回答	13,665 5,826 878 33	(67.0) (28.6) (4.3) (0.2)	67.0%

表3 がん教育初期アウトカム指標の測定結果 (つづき)

がん医療	高校生のがんの標準的治療への認識	T-1	がんの治療法の大きな柱(標準治療)として「手術療法」「化学療法」「放射線療法」のみを選択した者の割合	がんの標準治療法として適切なものをすべて選んでください。	Q6	①手術療法 ②化学療法 ③放射線療法 ④免疫療法 ⑤生体療法 ⑥自然治癒力増強療法 ⑦がんゲノム医療 ⑧わからない 無回答 「手術療法」「化学療法」「放射線療法」のみを選択	11,465 (56.2) 4,742 (23.2) 6,917 (33.9) 3,768 (18.5) 1,913 (9.4) 2,429 (11.9) 2,564 (12.6) 7,168 (35.1) 56 (0.3) 1,100 (5.4)	5.4%
	高校生のがんの治療方法意思決定への主体性	T-2	がんの治療方法を定める者として「医師」または「患者(自分)」を選択した者の割合	もしあなたががんと診断されたら、治療方法は誰が中心となって決めるとお考えですか。あなたの気持ちにもっとも近いものをひとつだけ選んでください。	Q5	①医師 ②患者(自分) ③家族 ④わからない 無回答 「医師」または「患者(自分)」を選択	7,193 (35.3) 10,985 (53.8) 1,074 (5.3) 1,103 (5.4) 47 (0.2) 18,178 (89.1)	89.1%
	高校生の緩和ケアへの認識	T-3	「緩和ケアは末期がん患者のみに適用される医療である」に「そう思わない」を選択した者の割合	緩和ケアは末期がん患者のみに適用される医療である。	Q7	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない ④わからない 無回答	3,403 (16.7) 3,648 (17.9) 3,988 (19.5) 9,273 (45.5) 90 (0.4)	19.5%

表3 がん教育初期アウトカム指標の測定結果（つづき）

サ バ イ バ ー シ ッ プ	高校生のヘルスリテラシー（論理的な正しさ:がんリスク）	S-1	「がんは、生活習慣の改善で予防できる」「がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない」のみを選択した者の割合	生活習慣とがんの関係について説明したものと、適切だと思うものをすべて選んでください。	Q8	①がんは、生活習慣の改善で予防できる ②どのような生活習慣を送ったとしてもがんにかかる可能性は変わらない ③がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない ④不適切な生活習慣を送っていると絶対にがんにかかる ⑤わからない 無回答 「がんは、生活習慣の改善で予防できる」「がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない」のみを選択	11,875 (58.2) 3,674 (18.0) 12,498 (61.3) 915 (4.5) 2,260 (11.1) 60 (0.3) 6,143 (30.1)	30.1%
	高校生のがんと共に生きる社会づくりを目指す態度	S-2	「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたと思う」に「そう思う」を選択した者の割合	がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたと思う。	Q9	①そう思う ②どちらともいえない ③そう思わない ④わからない 無回答	17,558 (86.1) 1,414 (6.9) 216 (1.1) 1,148 (5.6) 66 (0.3)	86.1%
	高校生のがんスティグマ	S-3	「がんの人と一緒にでもくつろげる」に「非常によく当てはまる」または「当てはまる」または「よく当てはまる」を選択した者の割合	次の質問では、あなたのがんに対する考え方やイメージについて伺います。それぞれの項目についてどのくらいそのように思うかあるいは思わないかのいずれかひとつを選択してください。万が一選択に迷われる場合には「わからない」を選択してください。 「がんの人と一緒にでもくつろげる」	Q10-1	①非常によく当てはまる ②よく当てはまる ③当てはまる ④あまり当てはまらない ⑤ほとんど当てはまらない ⑥全く当てはまらない ⑦わからない 無回答 「非常によく当てはまる」または「当てはまる」または「よく当てはまる」を選択	5,703 (28.0) 3,218 (15.8) 4,685 (23.0) 1,775 (8.7) 236 (1.2) 185 (0.9) 4,515 (22.1) 85 (0.4) 13,606 (66.7)	66.7%
		S-4	「がんの人と一緒にでも気楽でいられる」に「非常によく当てはまる」または「よく当てはまる」または「当てはまる」を選択した者の割合	次の質問では、あなたのがんに対する考え方やイメージについて伺います。それぞれの項目についてどのくらいそのように思うかあるいは思わないかのいずれかひとつを選択してください。万が一選択に迷われる場合には「わからない」を選択してください。 「がんの人と一緒にでも気楽でいられる」	Q10-2	①非常によく当てはまる ②よく当てはまる ③当てはまる ④あまり当てはまらない ⑤ほとんど当てはまらない ⑥全く当てはまらない ⑦わからない 無回答 「非常によく当てはまる」または「当てはまる」または「よく当てはまる」を選択	4,632 (22.7) 2,507 (12.3) 4,222 (20.7) 3,588 (17.6) 575 (2.8) 359 (1.8) 4,379 (21.5) 140 (0.7) 11,361 (55.7)	55.7%
	高校生のがんスティグマ（セルフスティグマ）	S-5	「自分自身が、がんと診断されたら、身近な人ががんのことを自由に話せると思う」に「話せると思う」または「どちらかといえば話せると思う」を選択した者の割合	あなたご自身が、がんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人ががんのことを自由に話せると思いますか。この中から1つだけ選択してください。	Q11	①話せると思う ②どちらかといえば話せると思う ③どちらかといえば話せると思わない ④話せると思わない ⑤わからない 無回答 「話せると思う」または「どちらかといえば話せると思う」を選択	7,098 (34.8) 6,131 (30.1) 3,134 (15.4) 1,987 (9.7) 1,971 (9.7) 81 (0.4) 13,229 (64.8)	64.8%

表3 がん教育初期アウトカム指標の測定結果（つづき）

未分類 （すべての分野を支える基盤分野としての初期アウトカム）	高校生のヘルスリテラシー（情報リテラシー）	L-1	「メディア（テレビ、インターネット、その他のメディア）から得た病気に関する情報が信頼できるかどうかを判断するのは」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください（それぞれひとつずつ） 「メディア（テレビ、新聞、インターネット、SNSなど）から得た病気に関する情報が信頼できるかどうかを判断する」	Q12-1	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	1,798 (8.8) 5,991 (29.4) 8,371 (41.0) 1,514 (7.4) 2,634 (12.9) 94 (0.5) 7,789 (38.2)	38.2%
		L-2	「メディア（新聞、ちらし、インターネット、その他のメディア）から得た情報をもとに病気から身を守る方法を定めるのは」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください（それぞれひとつずつ） 「メディア（テレビ、新聞、インターネット、SNSなど）から得た情報をもとに病気から身を守る方法を定める」	Q12-2	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	2,066 (10.1) 6,779 (33.2) 7,126 (34.9) 1,513 (7.4) 2,792 (13.7) 126 (0.6) 8,845 (43.4)	43.4%
		L-3	「健康になるためのメディア（インターネット、新聞、雑誌）情報を理解するのは」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください（それぞれひとつずつ） 「健康になるためのメディア（インターネット、雑誌、SNSなど）情報を理解する」	Q12-3	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	3,078 (15.1) 8,755 (42.9) 5,083 (24.9) 729 (3.6) 2,634 (12.9) 123 (0.6) 11,833 (58.0)	58.0%
	高校生のがん情報リテラシー（情報にたどりつくために）	L-4	「がんの正しい情報にたどりつくために、今、必要な情報は何か、考える」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください（それぞれひとつずつ） 「今、必要な情報は何か、考える」	Q13-1	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	3,596 (17.6) 7,052 (34.6) 5,915 (29.0) 1,083 (5.3) 2,638 (12.9) 118 (0.6) 10,648 (52.2)	52.2%
		L-5	「がんの正しい情報にたどりつくために、インターネットを活用する」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください（それぞれひとつずつ） 「インターネットを活用する」	Q13-2	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	9,217 (45.2) 7,189 (35.2) 1,864 (9.1) 325 (1.6) 1,636 (8.0) 171 (0.8) 16,406 (80.4)	80.4%
		L-6	「がんの正しい情報にたどりつくために、がん相談支援センターを利用する」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」まで、最もあてはまるものを選択してください（それぞれひとつずつ） 「がん相談支援センターを利用する」	Q13-3	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	3,387 (16.6) 5,051 (24.8) 6,561 (32.2) 1,908 (9.4) 3,346 (16.4) 149 (0.7) 8,438 (41.4)	41.4%

表3 がん教育初期アウトカム指標の測定結果 (つづき)

	L-7	「がんの正しい情報にたどりつくために、信頼できる情報か、考える」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「信頼できる情報か、考える」	Q13-4	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	3,366 (16.5) 6,265 (30.7) 6,988 (34.3) 1,557 (7.6) 2,086 (10.2) 140 (0.7) 9,631 (47.2)	47.2%
	L-8	「がんの正しい情報にたどりつくために、行動する前に、周囲の意見を聞く」に「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください(それぞれひとつずつ) 「行動する前に、周囲の意見を聞く」	Q13-5	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	5,918 (29.0) 8,259 (40.5) 3,426 (16.8) 606 (3.0) 2,066 (10.1) 127 (0.6) 14,177 (69.5)	69.5%
高校生のがん情報リテラシー(判断力)	L-9	がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、「いつの情報か」について「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください。(それぞれ	Q14-1	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	4,060 (19.9) 7,848 (38.5) 5,225 (25.6) 801 (3.9) 2,314 (11.3) 154 (0.8) 11,908 (58.4)	58.4%
	L-10	がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、「だれが発信しているか」について「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください。(それぞれ	Q14-2	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	3,078 (15.1) 5,714 (28.0) 6,755 (33.1) 2,406 (11.8) 2,240 (11.0) 209 (1.0) 8,792 (43.1)	43.1%
	L-11	がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、「何を根拠にしているか」について「とても簡単」または「やや簡単」を選択した者の割合	健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください。(それぞれ	Q14-3	①とても簡単 ②やや簡単 ③やや難しい ④とても難しい ⑤わからない／あてはまらない 無回答 「とても簡単」または「やや簡単」を選択	2,532 (12.4) 4,735 (23.2) 7,767 (38.1) 2,940 (14.4) 2,236 (11.0) 192 (0.9) 7,267 (35.6)	35.6%

表3 がん教育初期アウトカム指標の測定結果 (つづき)

基本情報	高校生のがん情報リテラシー(情報源)	L-12	「がんと診断されたら、自身のがんの治療法や病院についての情報の入手先として、「がん相談支援センター(がん診療連携拠点病院の相談窓口)」「国立がん研究センターのウェブサイト」「がん情報サービス」それぞれを選択した者の割合	あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつかでも選択してください。	Q15	①がん相談支援センター(がん診療連携拠点病院の相談窓口) ②病院・診療所の医師・看護師や①以外の相談窓口 ③保健所・保健センターの窓口 ④図書館 ⑤新聞・雑誌・書籍(④以外) ⑥テレビ・ラジオ ⑦国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」 ⑧インターネット(⑦以外) ⑨家族・友人・知人 ⑩その他 ⑪情報を入手しようと思わない ⑫わからない 無回答	11,335 (55.6) 13,712 (67.2) 4,622 (22.7) 1,401 (6.9) 1,771 (8.7) 2,181 (10.7) 4,829 (23.7) 7,759 (38.0) 6,791 (33.3) 518 (2.5) 71 (0.3) 1,907 (9.3) 153 (0.7)	55.6% 23.7%
	高校生の主体的にがん教育に取り組む態度(学びに向かう力・人間性)	L-13	「授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったこと」に「ある」を選択した者の割合	授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったことはありますか。	Q16	①ある ②どちらかといえばある ③どちらかといえばない ④ない 無回答	5,152 (25.3) 8,094 (39.7) 4,364 (21.4) 2,602 (12.8) 190 (0.9)	25.3%
		L-14	「授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたこと」に「ある」を選択した者の割合	授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたことがありますか。	Q17	①ある ②ない 無回答	4,603 (22.6) 15,643 (76.7) 156 (0.8)	22.6%
		L-15	「授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたこと」に「ある」を選択した者の割合	授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたことがありますか。	Q18	①ある ②ない 無回答	6,454 (31.6) 13,803 (67.7) 145 (0.7)	31.6%
	基本属性	-	性別	性別と年齢について選択してください。	Q2	男 女 回答したくない 無回答	9,808 (48.1) 10,024 (49.1) 532 (2.6) 38 (0.2)	
			年齢			Q2	Mean (SD) 16歳 17歳	16.6 (0.49) 7,568 (37.1) 11,519 (56.5)
		同意の有無	-	同意の有無	調査にご協力いただけますか。	Q1	協力する 協力しない	20,402 1,290

学校長 殿

がんについてのアンケート実施へのご協力をお願い

国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 医療政策部 部長 東 尚弘

私どもの研究班は、現在、厚生労働省より補助金を受けて「次期がん対策推進基本計画に向けた新たな指標及び評価方法の開発のための研究」を進めております。

がん対策基本法第23条では、「国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする」とされています。また、平成26(2014)年度より「がんの教育総合支援事業」が行われ、がん教育が推進されています。さらに、平成29～30(2016～2018)年改訂の新学習指導要領では、中学校と高等学校の保健でがんを取扱うことが明記されました。

このように現在、これらががん教育が開始して数年といった時期にあります。今後のがん教育を確実に意義のあるものとするためには、現状を把握しそれに即した対策を考えていくことが必要です。そのため、貴校2年生を対象に、がんについての意識・知識の調査をさせていただきたく存じます。大変お忙しい時期とは存じますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 本研究の概要

研究費の種類 厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業
実施年度 令和2～4年度
研究課題名 次期がん対策推進基本計画に向けた新たな指標及び評価方法の開発のための研究
研究代表者 東 尚弘(国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部部長)
研究分担者 助友裕子(日本女子体育大学体育学部健康スポーツ学科教授)

2. 今回の調査について

調査内容 がんに関する意識と知識について16項目と性別(完全無記名)
調査対象 全国の全日制高等学校から無作為抽出された高等学校の2年生
回答期限 令和4年12月31日(金)までに実施をお願いします。
調査データ 回答データは、コンピューターで統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた方の個人的な情報が外部に漏れたり、ご回答者にご迷惑をおかけしたりするようなことは決してありません。

3. 調査協力への御礼について

ご希望があれば、別紙の「調査結果のフィードバック希望」欄にチェックを入れていただくことで、貴校回答者の集計結果をお送りさせていただきます。授業改善等にお役立てください。

【問合せ先】

令和4年度厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業「次期がん対策推進基本計画に向けた新たな指標及び評価方法の開発のための研究」(研究代表者 東尚弘)
分担研究者 助友裕子 suketomo.hiroko@jwcepe.ac.jp TEL/FAX 03-3300-3216

がんについてのアンケート(高校2年生)

匿名のアンケート調査へのご協力をお願いいたします。下記 QR コードを読み込み、17 項目の質問にご回答ください。皆さんの考えを知ることが目的ですから、回答したくない質問には回答しなくても結構です。テストではないので正解はありませんし、回答しないことで不利益になるようなことは一切ございません。



ご協力どうもありがとうございました。

調査ご担当の先生

がんについてのアンケート（高校2年生）調査の手引き

研究代表者

国立がん研究センターがん対策研究所
医療政策部 部長 東 尚弘

調査にご協力いただき誠にありがとうございます。調査実施に際しまして、ごく身近な家族をがんで亡くしている生徒さんに個別の配慮をお願いします。

それでは以下の手順で実施をお願いします。

- ① 「がんについてのアンケート(高校2年生)」を配布してください。
- ② とんりの人の回答が見えないように配慮をお願いします。また、先生が机間を回ることもされないようにお願いします。
- ③ 次のことを伝えてください。
「皆さんが答えた結果は、日本でがんで亡くなる人を減らすための研究に使用されま
す。」
「皆さんの名前や学校はわからないよう研究室に送信されます。」
「学校の成績には関係ありません。」
「思ったことや知っていることを正直に答えてください。」
「答えたくない人は答えなくても結構です。」
(回答時間は15分をお願いします。)
「これで終わりです。」

ご協力、誠にありがとうございました。

がんについてのアンケート（高校2年生）

匿名のアンケート調査へのご協力をお願いいたします。17項目の質問にご回答ください。皆さんの考えを知ることが目的ですから、回答したくない質問には回答しなくても結構です。テストではないので正解はありませんし、回答しないことで不利益になるようなことは一切ございません。

Q 1. これをふまえて、調査にご協力いただけますか。

協力する → 次の質問にお進みください。

協力しない → 調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

あなたご自身について選択してください。

Q 2. 性別と年齢について選択してください。

性別 【どちらかに○】 男 ・ 女 ・ 回答したくない

年齢 【数字を入力】 () 才

Q 3. がんと生活習慣に関する以下の質問について、最もあてはまるものを選択してください。(それぞれひとつずつ)

		そう思う	どちらとも いえない	そう思わない
1	たばこは吸わないでいようと思う。	1	2	3
2	お酒は飲みすぎないようにしようと思う。	1	2	3
3	適度に運動を行おうと思う。	1	2	3
4	適正体重を維持しようと思う。	1	2	3
5	塩分を取りすぎないようにしようと思う。	1	2	3
6	野菜や果物を十分にとろうと思う。	1	2	3
7	バランスの良い食生活に取り組もうと思う。	1	2	3
8	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	1	2	3

Q 4. 国が推奨しているがん検診は、どのような人が受けるものだと思いますか。適切だと思うものをすべて選択してください。

1. 自覚症状のある人

2. 医者から受けるようにすすめられた人

3. 1, 2に該当しないが一定の年齢を過ぎたすべての人

4. わからない

Q5. もしあなたががんと診断されたら、治療方法は誰が中心となって決めると思いますか。あなたの気持ちにもっとも近いものをひとつだけ選択してください。

1. 医師 2. 患者(自分) 3. 家族 4. わからない

Q6. がんの標準治療として適切だと思うものをすべて選択してください。

1. 手術療法 2. 化学療法 3. 放射線療法 4. 免疫療法
5. 生体療法 6. 自然治癒力増強療法 7. がんゲノム医療 8. わからない

Q7. 緩和ケアは末期がん患者のみに適用される医療である。

1. そう思う 2. どちらともいえない 3. そう思わない
4. わからない

Q8. 生活習慣とがんの関係について説明したものとして、適切だと思うものをすべて選択してください。

1. がんは、生活習慣の改善で予防できる
2. どのような生活習慣を送ったとしてもがんにかかる可能性は変わらない
3. がんにかかったすべての人が不適切な生活習慣を送っていたわけではない
4. 不適切な生活習慣を送っていると絶対にがんにかかる
5. わからない

Q9. がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。

1. そう思う 2. どちらともいえない 3. そう思わない 4. わからない

Q10. 次の質問では、あなたのがんに対する考え方やイメージについて伺います。それぞれの項目についてどのくらいそのように思うかあるいは思わないかのいずれかひとつを選択してください。万が一選択に迷われる場合には「わからない」を選択してください。

		わからない	全く当てはまらない	ほとんど当てはまらない	まあまあ当てはまる	当てはまる	よく当てはまる	非常によく当てはまる	わからない
1	がんの人と一緒にでもくつろげる	1	2	3	4	5	6	7	
2	がんの人と一緒にでも気楽でいられる	1	2	3	4	5	6	7	

Q11. あなたご自身が、がんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人にがんのことを自由に話せると思いますか。この中からひとつだけ選択してください。

1. 話せると思う 2. どちらかといえば話せると思う 3. どちらかといえば話せると思わない
4. 話せると思わない 5. わからない

Q12. 以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください。（それぞれひとつずつ）

		とても簡単	やや簡単	やや難しい	とても難しい	あてはまらない／わからない
1	メディア（テレビ、新聞、インターネット、SNS など）から得た病気に関する情報が信頼できるかどうかを判断する	1	2	3	4	5
2	メディア（テレビ、新聞、インターネット、SNS など）から得た情報をもとに病気から身を守る方法を決める	1	2	3	4	5
3	健康になるためのメディア（インターネット、雑誌、SNS など）情報を理解する	1	2	3	4	5

Q13. がんの正しい情報にたどりつくために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください。（それぞれひとつずつ）

		とても簡単	やや簡単	やや難しい	とても難しい	あてはまらない／わからない
1	今、必要な情報は何か、考える	1	2	3	4	5
2	インターネットを活用する	1	2	3	4	5
3	がん相談支援センターを利用する	1	2	3	4	5
4	信頼できる情報か、考える	1	2	3	4	5
5	行動する前に、周囲の意見を聞く	1	2	3	4	5

Q14. 健康や医療に関する情報は、自分の健康、そして命に関わるものです。がんに対する情報を見聞きしたときに、自分にとって正しい情報であるかどうかを判断するために、以下のそれぞれが、あなたにとって簡単か難しいかについてお聞きします。「とても簡単」から「とても難しい」までで、最もあてはまるものを選択してください。（それぞれひとつずつ）

		とても簡単	やや簡単	やや難しい	とても難しい	あてはまらない／わからない
1	いつの情報か	1	2	3	4	5
2	だれが発信している情報か	1	2	3	4	5
3	何を根拠にしている情報か	1	2	3	4	5

Q15. あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでも選択してください。

1. がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院の相談窓口）
2. 病院・診療所の医師・看護師や1以外の相談窓口
3. 保健所・保健センターの窓口
4. 図書館
5. 新聞・雑誌・書籍（4以外）
6. テレビ・ラジオ
7. 国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」
8. インターネット（7以外）
9. 家族・友人・知人
10. その他
11. 情報を入手しようと思わない
12. わからない

Q16. 授業で、ニュースや新聞などで取り上げられたがんの話題を紹介されて、学習する内容に興味・関心をもったことはありますか。

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえはない
4. ない

Q17. 授業を受けた後で、がんに関する情報を自ら調べたことがありますか。

1. ある
2. ない

Q18. 授業で学習したがんに関する内容について、家族や友人と話題にしたことがありますか。

1. ある
2. ない